

第45回大阪市空手道選手権大会競技規定

本大会は、（公財）全日本空手道連盟競技規定・審判規定・および大阪市空手道連盟申し合わせ事項により実施する。

1 審判団の構成

形 競技 審判団は、5名の審判員で構成し判定を行う。
組手競技 審判団は、6名の審判員で構成し判定を行う。

2 競技方法

形 競技 赤・青2名の競技者が同時に形の競技を行い、審判員は赤・青の旗をもって判定を行う。
組手競技 全日本空手道連盟競技規定で行う。

3 競技内容

形 競技
① 幼児の部 道場指導形・全空連基本形を行う。 **(連続可)**
② 小学1年～3年生 全空連基本形を行う。 **(連続可)**
③ 小学4年～中学生 全空連基本形を行う。 **(連続可)**
ベスト8から全空連基本形を含む自由形を行う。 **(連続不可)**
④ 少年(高校生)～成年小ヤマがあるなしに係わらず1・2回戦は第1指定形を行う。 **(連続可)**
3回戦は第2指定形を行う。
4回戦以降(ベスト8以上)は連続しない指定形を含む自由形とする。
(連続不可)

組手競技

- * 幼児の部 競技時間およびポイント
1分フルタイム、**4ポイント差**で勝ちとする。
- * 小学1年～中学生 競技時間およびポイント
1分フルタイム、**6ポイント差**で勝ちとする。
- * 少年(高校生)～成年 競技時間およびポイント
1分30秒フルタイム、**8ポイント差**で勝ちとする
- * 勝敗に、**先取を導入**する
引き分けの場合、再試合はしない。赤・青旗判定で勝敗を決する。
組手競技において、監査が競技を止めたとき記計は時計を止める
- * 選手は、赤・青の拳サポーター・メンホー・ボディプロテクター・ファールカップ(男子のみ)を着用する事。
当日、着用の確認はしないが反則は本人のC1になるので注意する事。
- * インステップガード・シンガードの着用を認める。(任意とする)
- * ニューメンホー(ミズノマーク5を含む)以外のメンホーの使用は会派及び自己の責任において認めるが、負傷した場合大阪市空手道連盟は責任を取らない。
- * 中学生のリバーシブル拳サポーターの使用は認めない。
- * 形・組手とも眼鏡の使用を禁止する。ただし、ソフトコンタクトレンズのみ自己の責任において着用を認める。
形競技の、眼鏡の使用は認めない。

注意 本大会の組手競技は、「全日本空手道連盟競技規定」で行う。
高校生までの組手競技において、顔面・頭部への突き・打ち技は触れたらC1を課す。

注意 競技終了15秒未満の格闘を避ける行為はC2の忠告・警告があるなしにかかわらずC2反則注意を課す。
C2反則注意を受けている場合はC2反則とし、反則負けとする。
C1・C2の反則は、反則注意まで加点はしないが、反則で負けとする。

4 競技規則

- ① 空手着の会派名等の胸マークは認めない。(布等で隠す事)
- ② 形競技の初回戦(小ヤマ)は1回戦とみなす。
- ④ 帯は、会派の級・段の帯の着用を認める。